



専用見積 数量編集 ワンポイントマニュアル





専用見積 数量編集の流れ

解体見積 EX では、自社の**見積実績値（数量・単価）**の登録を行う事で積算係数と連動させた見積書のひな型を容易に作成する事が可能です。

■ 廃棄物処理費 木くず再資源化施設（チップ）の数量編集のケース

この章では、木造二階建て住宅（延べ面積 40 坪・建築面積 25 坪）の現地調査済の物件を例に説明していきます

- ① 見積フォーム「木造住宅石綿有」を選択し、見積書の工事明細から②「廃棄物処理費」の内訳明細に入ります。
- ③「数量編集」を選択して数量編集を行う④「木くず 再資源化施設チップ」を選択します。

(専用見積) 入れ替える見積フォームを選択してください。

数量編集は、自動積算項目の分別区分・積算コードが設定されている内訳明細の工事項目のみとなります。

分別区分の数量が連動します。
☒ 分別区分 (分別番号:1)木くず/再資源化施設(チップ)

積算コードの数量が連動します。
☒ 積算コード 外壁面積

1 見積フォーム名: GAm01_木造住宅_石綿有

2 工事名称: 廃棄物処理費

3 数量編集

4 明細名称: 木くず

No.	工事名称	仕様
1	仮設工事	
2	解体工事	
3	アスベスト除去工事	
4	付帯工事	
5	廃棄物処理費	
6	有価材処理費	
7	廃棄物運搬費	
8	諸経費	

積算数量	変更	建物係数設定	排出設定
延べ面積	135.00	m ² 坪	40.84 坪
建築面積	85.00	m ² 坪	25.71 坪

No.	明細名称	仕様	積算方法	数量	単位	単価
1	木くず	再資源化施設（チップ）	再資源化施...	10.56	t	6,100
2	木くず	焼却（適正焼却炉）	焼却（適正...	17.58	t	9,600
3	コンクリート	再資源化施設（破砕）	再資源化施...	19.85	t	2,200

■ 廃棄物処理費 木くず再資源化施設（チップ）の数量編集のケース①

「数量編集」から「木くず 再資源化施設チップ」を選択後に①「数量編集ダイアログ」が開きます。②「数量 10.56」を③「11.00」に変更し、単位・単価を確認して④「次へ」を押します。
⑤見積確認ダイアログが開き明細金額の確認をして⑥「実行」を押します。
※この時点で「キャンセル」ボタンを押した場合は、内訳明細へは反映されません。（次ページへ続く）

山田太郎様邸木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

会社情報 工事情報 見積書 排出量 法定福利 元に戻す やり直し 印刷 新規作成 File開く File保存 設定 ヘルプ 終了

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事
山田工務店

専用見積フォーム 入替 登録

工事内訳 内訳明細 160 %

数量編集を実行してください

積算数量 変更 建物係数設定 排出設定

延べ面積 135.00 m² 坪 40.84 坪
建築面積 85.00 m² 坪 25.71 坪

編集終了

No.	明細名称	仕様	積算方法	数量	単位	単価	見積額
1	木くず	再資源化施設（チップ）	再資源化施設...	10.56	t	6,100	64,416
2	木くず	焼却（適正焼却炉）	焼却（適正...	17.68	t	9,600	169,728
3	コンクリート	再資源化施設（破砕）	再資源化施設...	19.85	t	2,200	43,670
4	コンクリート	安定型埋立処分	安定型埋立処分	7.16	t	14,600	104,496

数量編集（廃棄物処理費・木くず）

①

- 「数量」「単価」を修正して見積額を算出する。
- 「見積額」を修正して「数量」を自動計算する。
- 「見積額」を修正して「単価」を自動計算する。

積算方法	数量	単位	単価	見積額
木くず / 再資源化施設	10.56	t	6,100	64,416

「数量」「単価」を入力して「Enter」を押してください。

次へ キャンセル

数量編集（廃棄物処理費・木くず）

- 「数量」「単価」を修正して見積額を算出する。
- 「見積額」を修正して「数量」を自動計算する。
- 「見積額」を修正して「単価」を自動計算する。

積算方法	数量	単位	単価	見積額
木くず / 再資源化施設	11.00	t	6,100	67,100

③

④ 次へ キャンセル

見積額の確認

数量を変更することで、係数が自動で更新されます

5

この見積明細を見積書に反映する場合は「実行」を押してください。

算出した延べ床（1㎡）当たりの重量・体積の係数は廃棄物係数に連動します。

工事名称	明細名称	積算方法	基本数量	係数	歩掛	積算数量	単位	単価	見積額
5 廃棄物処理費	1 木くず	再資源化施設	延べ面積	135.00	0.0815	11.00	t	6,100	67,100
7 廃棄物運搬費	1 木くず	再資源化施設	延べ面積	135.00	0.1481	19.99	m ³	1,500	29,985

戻る 実行 キャンセル

■ 廃棄物処理費 木くず再資源化施設（チップ）の数量編集のケース②

⑦見積額「更新前・更新後」を確認して⑧「OK」を押して内訳明細に戻ります。

他に編集行が無い場合は、⑨「編集終了」を押します。

7
!

見積額を更新しました。

更新前	3,482,766円
更新後	3,487,038円

変更した情報を見積フォームに登録する事で他の工事に利活用が可能です。

見積フォーム登録
8 OK

File保存

設定

ヘルプ

終了

数量編集行を指定してください

積算数量 変更
建物係数設定
排出設定

延べ面積	135.00	☒ m ² ☐ 坪	40.84 坪
建築面積	85.00	☒ m ² ☐ 坪	25.71 坪

✎

編集終了

	積算方法	数量	単位	単価	見積額
	再資源化施...	11.00	t	6,100	67,100

■「積算係数の連動確認」 木くず（チップ）の数量10.56tから11tに変更した場合の積算係数の確認

この章では、前章で「数量編集」を行った「木くず（チップ）の積算係数」の連動値の確認方法を説明します。

- ①「排出量」ボタンを押します。②「排出設定」を押すとメニューが表示されますので
- ②「廃棄物係数設定」を選択すると④延べ面積1㎡当たりの廃棄物量の係数が確認できます。

※見積書の内訳明細で「数量編集」を行う事で積算係数が連動している事が確認いただけます。

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

1

排出量

2

排出設定

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事

山田工務店

未登録フォーム 入替 登録

GAm01_木造住宅_石綿有

見積額	3,235,645円
消費税額	323,564円
見積総合計	3,559,209円

積算数量 変更	建物係数設定
延べ面積	135.00 ㎡ 坪 40.84 坪
建築面積	85.00 ㎡ 坪 25.71 坪

排出設定

3

廃棄物係数設定

延べ床（1㎡）当たりの廃棄物量（t・m3）の係数設定を行います。

排出量一括変更

廃棄物処理の係数（t/m2）（m3/m2）の変更を行います

分別区分設定

分別区分（木くず等）のリサイクル処理の設定を行います。

終了

3

延べ床（1㎡）当たりの廃棄物量（t・m3）の係数設定を行います。

数量編集後の積算係数

「木くず 再資源化施設チップ」数量「11.00t」の積算係数

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

排出量

3

延べ床（1㎡）当たりの廃棄物量（t・m3）の係数設定を行います。

排出量一括変更

廃棄物処理の係数（t/m2）（m3/m2）の変更を行います

分別区分設定

分別区分（木くず等）のリサイクル処理の設定を行います。

終了

見積額	3,235,645円
消費税額	323,564円
見積総合計	3,559,209円

積算数量 変更	建物係数設定
延べ面積	135.00 ㎡ 坪 40.84 坪
建築面積	85.00 ㎡ 坪 25.71 坪

分別番号	分別区分	処理方法	積算対象	延べ面積(1㎡) 当りの廃棄物の量(重量・体積)
1	木くず	再資源化施設(チップ)	○	0.0815 t 0.1481 m3
2	木くず	焼却(適正焼却炉)	○	0.1302 t 0.2367 m3

積算対象	延べ面積(1㎡) 当りの廃棄物の量(重量・体積)
○	0.0815 t 0.1481 m3
○	0.1302 t 0.2367 m3

数量編集前の積算係数

「木くず 再資源化施設チップ」10.56tの積算係数

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

排出量

3

延べ床（1㎡）当たりの廃棄物量（t・m3）の係数設定を行います。

排出量一括変更

廃棄物処理の係数（t/m2）（m3/m2）の変更を行います

分別区分設定

分別区分（木くず等）のリサイクル処理の設定を行います。

終了

見積額	3,231,761円
消費税額	323,176円
見積総合計	3,554,937円

積算数量 変更	建物係数設定
延べ面積	135.00 ㎡ 坪 40.84 坪
建築面積	85.00 ㎡ 坪 25.71 坪

分別番号	分別区分	処理方法	積算対象	延べ面積(1㎡) 当りの廃棄物の量(重量・体積)
1	木くず	再資源化施設(チップ)	○	0.0782 t 0.1421 m3
2	木くず	焼却(適正焼却炉)	○	0.1302 t 0.2367 m3

積算対象	延べ面積(1㎡) 当りの廃棄物の量(重量・体積)
○	0.0782 t 0.1421 m3
○	0.1302 t 0.2367 m3

■ 仮設工事 現地調査後の外部足場面積の「数量編集」

この章では、現地調査後の外部足場の「数量編集」を行ったケースの解説を行います。

内訳明細の①「編集編集」を押し②「外部足場」を選択します。③「数量編集ダイアログ」の外部足場面積を④に変更して「次へ」を押します。⑤「変更前・変更後の見積金額」を確認後に⑥「OK」を押して内訳明細に戻ります。

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

自社情報 工事情報 見積書 排出量 法定福利 元に戻す やり直し 印刷 新規作成 File開く File保存 設定 ヘルプ 終了

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 山田工務店

専用見積フォーム 入替 登録

工事内訳 内訳明細 160%

01 仮設工事

行挿入 行削除 行移動 行挿入 小計行 行複写

積算数量 変更 建物係数設定 排出設定

延べ面積 135.00 m² 坪 40.84 坪
建築面積 85.00 m² 坪 25.71 坪

数量編集

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

自社情報 工事情報 見積書 排出量 法定福利 元に戻す やり直し 印刷 新規作成 File開く File保存 設定 ヘルプ 終了

山田太郎様邸 木造2階建て住宅解体工事 山田工務店

専用見積フォーム 入替 登録

工事内訳 内訳明細 160%

01 仮設工事

数量編集行を指定してください

積算数量 変更 建物係数設定 排出設定

延べ面積 135.00 m² 坪 40.84 坪
建築面積 85.00 m² 坪 25.71 坪

編集終了

No.	明細名称	仕様	積算方法	数量	単位	単価
1	外部足場	単管一本足場	外部足場面積	178.20	m ²	450
2	養生シート		外部足場面積	178.20	m ²	100

数量編集（仮設工事・外部足場）

「数量」「単価」を修正して見積額を算出する。
「見積額」を修正して「数量」を自動計算する。
「見積額」を修正して「単価」を自動計算する。

積算方法	数量	単位	単価	見積額
外部足場面積	178.20	m ²	450	80,100

「数量」「単価」を入力して「Enter」を押してください。

次へ キャンセル

数量編集（仮設工事・外部足場）

「数量」「単価」を修正して見積額を算出する。
「見積額」を修正して「数量」を自動計算する。
「見積額」を修正して「単価」を自動計算する。

積算方法	数量	単位	単価	見積額
外部足場面積	190.00	m ²	450	85,500

「数量」「単価」を入力して「Enter」を押してください。

次へ キャンセル

見積額の確認

この見積明細を見積書に反映する場合は「実行」を押してください。

係数（1.28）は積算コードに連動します。

工事名称	明細名称	積算方法	基本数量	係数	歩掛	積算数量	単位	単価	見積額
1 仮設工事	1 外部足場	外部足場面積	148.50	1.28		190.00	m ²	450	85,500
1 仮設工事	2 養生シート	外部足場面積	148.50	1.28		190.00	m ²	100	19,000
1 仮設工事	4 仮設材運搬費	外部足場面積	148.50	1.28		190.00	m ²	200	38,000

戻る 実行 キャンセル

数量を変更することで、係数が自動で更新されます

見積額を更新しました。

更新前 3,487,038円
更新後 3,496,773円

変更した情報を見積フォームに登録する事で他の工事に利活用が可能です。

見積フォーム登録

OK

■解体工事 屋根材撤去工事 勾配係数の変更（建物係数設定）＝係数：小数点第三位は四捨五入になります。

この章では、屋根材撤去工事の屋根面積を「建物係数設定」の勾配係数を活用した入力方法の解説を行います。

- ① 「建物係数設定」から②「建物係数設定」を開き③「屋根面積」を選択します。ダイアログが開きます。
- ④「勾配係数優先」をチェックして⑤勾配係数を確認し、⑥「次へ」を押します。⑦見積明細を確認し⑧「OK」を押すと②「建物係数設定」に戻ります。（次ページに続く）

積算数量 変更 ① 建物係数設定 ② 排出設定

延べ面積	135.00	☒ m ² ☐ 坪	40.84 坪
建築面積	85.00	☒ m ² ☐ 坪	25.71 坪

建物係数設定

係数設定を行う 積算コード行 を選択してください。

No.	積算コード	基本数量	係数	積算数量	単位
1	延べ面積	延べ面積	1.00	135.00	m ²
2	建築面積	建築面積	1.00	85.00	m ²
3	外部足場面積	延べ面積	1.32	178.20	m ²
4	布基礎の延長	建築面積	0.88	74.80	m
5	土間面積	建築面積	0.40	34.00	m ²
6	鉄筋の重量	延べ面積	5.48	739.80	kg
7	屋根面積	建築面積	1.10	93.50	m ²

⑦ 屋根面積 建築面積 ③ 1.10 93.50 m²

建物係数設定

☐ 任意係数入力

屋根面積 = 係数 1.100 × 建築面積 = 93.50 m

☒ 勾配係数優先 ④

屋根面積 = 勾配 ⑤ 5寸 係数 1.118 × 建築面積 = 95.03 m

2寸
2寸5分
3寸
3寸5分
4寸
4寸5分
5寸
5寸5分

⑥ 次へ キャンセル

基本数量	係数
建築面積 85.00	1.12

係数：小数点第三位は四捨五入になります。

見積額の確認

この見積明細は、未だ見積書に反映されていません。建物係数設定にもどり「保存（終了）」後に反映されます。

工事名称	明細名称	積算方法	基本数量	係数	積算数量	単位	単価	見積額
2 解体工事	2 屋根材撤去	屋根面積	建築面積 85.00	1.12	95.03	m ²	900	85,527
3 アスベスト除去工事	2 屋根材撤去	屋根面積	建築面積 85.00	1.12	95.03	m ²	3,000	285,090

OK

キャンセル

■解体工事 屋根材撤去工事 勾配係数の変更（建物係数設定）＝係数：小数点第三位は四捨五入になります。

前章より、②「建物係数設定」に戻り「係数・数量を確認」後に見積書に反映する為に⑨保存（終了）を押します。
見積額更新メッセージが表示され「OK」を押して確定します。

建物係数設定

係数設定を行う 積算コード行 を選択してください。

No.	積算コード	基本数量	係数	積算数量	単位
1	延べ面積	延べ面積	1.00	135.00	m ²
2	建築面積	建築面積	1.00	85.00	m ²
3	外部足場面積	延べ面積	1.32	178.20	m ²
4	布基礎の延長	建築面積	0.88	74.80	m
5	土間面積	建築面積	0.40	34.00	m ²
6	鉄筋の重量	延べ面積	5.48	739.80	kg
7	屋根面積	建築面積	1.12	95.03	m ²
8	外壁面積	延べ面積	1.10	148.50	m ²
9	外部開口面積	延べ面積	0.35	47.25	m ²
10	外周壁延長	延べ面積	0.55	74.25	m
11	内壁面積	延べ面積	2.82	380.70	m ²
12	内部開口面積	延べ面積	0.44	59.40	m ²
13	石膏ボードの面積	延べ面積	1.91	257.85	m ²
14	アルミ重量	延べ面積	1.30	175.50	kg
15		延べ面積	0.00	0.00	

9

NO 利用中積算コード

元に戻す

保存(終了)

キャンセル



見積額を更新しました。

更新前 3,394,977円

更新後 3,402,708円

変更した情報を見積フォームに登録することで他の工事に利活用が可能です。

OK

■「見積フォーム」の登録と活用方法

この章では、「数量編集」を行った見積書のひな型（見積フォーム）作成方法の解説を行います。

数量編集後に見積フォーム①「登録」を押す。見積フォーム登録ダイアログの②「未登録」を④「任意の名称」に変更します。③見積フォーム名称を⑤「任意の名称」に変更して⑥「作成」ボタンを押して登録します。

山田太郎様低邸木造2階建て住宅解体工事 - 解体見積：専用見積

自社情報 工事情報 見積書 排出量 法定福利 元に戻す やり直し

山田太郎様低邸 木造2階建て住宅解体工事
山田工務店

未登録フォーム 入替 登録

GAm01_木造住宅_石綿有

(専用見積) 見積フォームを登録してください。

現調前マスタ 右ボタン 名称変更 内装マスタ 旧 出荷マスタ

2 未登録 未登録 未登録 未登録

未登録 未登録 未登録 未登録

見積フォーム名 消費税端数処理 保存日付

現在作業中の見積書を元に、見積フォームを登録します。

見積フォーム名称 GAm01_木造住宅_石綿有 3

ファイル管理 名称変更 削除 作成 キャンセル

(専用見積) 見積フォームを登録してください。

現調前マスタ 現調後マスタ 内装マスタ 旧 出荷マスタ

4 木造住宅40坪 未登録 未登録 未登録

未登録 未登録 未登録 未登録

見積フォーム名 消費税端数処理 保存日付

現在作業中の見積書を元に、見積フォームを登録します。

見積フォーム名称 木造住宅_現調後_石綿有 5

ファイル管理 名称変更 削除 作成 6 キャンセル

未登録グループの名前は、構造や面積毎管理し易い名前に変更してください。

登録した見積フォームは、⑦新規作成時に自社の標準見積書のひな型として呼び出す事ができます。
また、見積作成中に⑧「入替」ボタンから呼び出す事も可能です。

解体 専用見積

作成方法選択

見積書を作成する方法を選択して下さい。

7 ☒ 見積フォームを選択して見積書を作成します。

☐ 既存のファイルを選択して見積書を作成します。

戻る 次へ キャンセル